

第2回鶴川駅南口のまちなみをつくる会

まとめ・ご意見ご感想

今回のテーマである「みどり豊かなまち」は一朝一夕でできるものではなく、子供を育てるように育てていく必要がある。そこに向き合っているプロフェッショナルの経験と知見をお聞きし、鶴川駅南口エリアではどんな取り組みがマッチするのか、理想の形やこれからの課題も見えてきました。また、「電柱や塀が真ん中に写っている写真を良いイメージとして紹介しており、市と信頼が築けない」とご意見をいただきました。写真の選定にあたっては、より一層確認し、皆様と良いまちなみのイメージを共有できるように努めてまいります。



ワークショップの最後に、参加者のみなさんにお聞きしました
「みどり豊かな街」をつくっていく時のポイントとは？

- ・みどりの柵があるといい
- ・木陰でおしゃべりできる場所があるといい
- ・子供が遊べる芝生の広場がほしい

- ・水やり
- ・剪定
- ・落ち葉の清掃

- ・みんなで緑を育てられる場所
- ・桜並木
- ・まちを歩く人が見てくれるような植物を育てる

- ・敷地内に木を植える（桜）
- ・垣根は樹木にする

- ・場所にあった植樹
- ・住民の合意
- ・住民による手入れ

- ・農地と小公園を中心に、生垣、街路樹などでみどりをつなぐ
- ・市民が関われる触れられるみどりを（官民所有権を超えて）

- ・みどりに囲まれた場所とみんながほっこりするような広場が欲しい

- ・四季の花々を植えて楽しみたい
- ・緑に囲まれた家にしたい
- ・植物をたくさん植えた庭をつくりたい

鶴川駅南口のまちなみをつくる会 とは？

鶴川駅の南口エリアにおいて、「良いまちなみは何か？」を学びながら、南口ならではのまちなみの作り方を区画整理区域内の土地・建物所有者の方と専門家の方とを交え考える場（全4回）です。



【次回以降の開催予定】

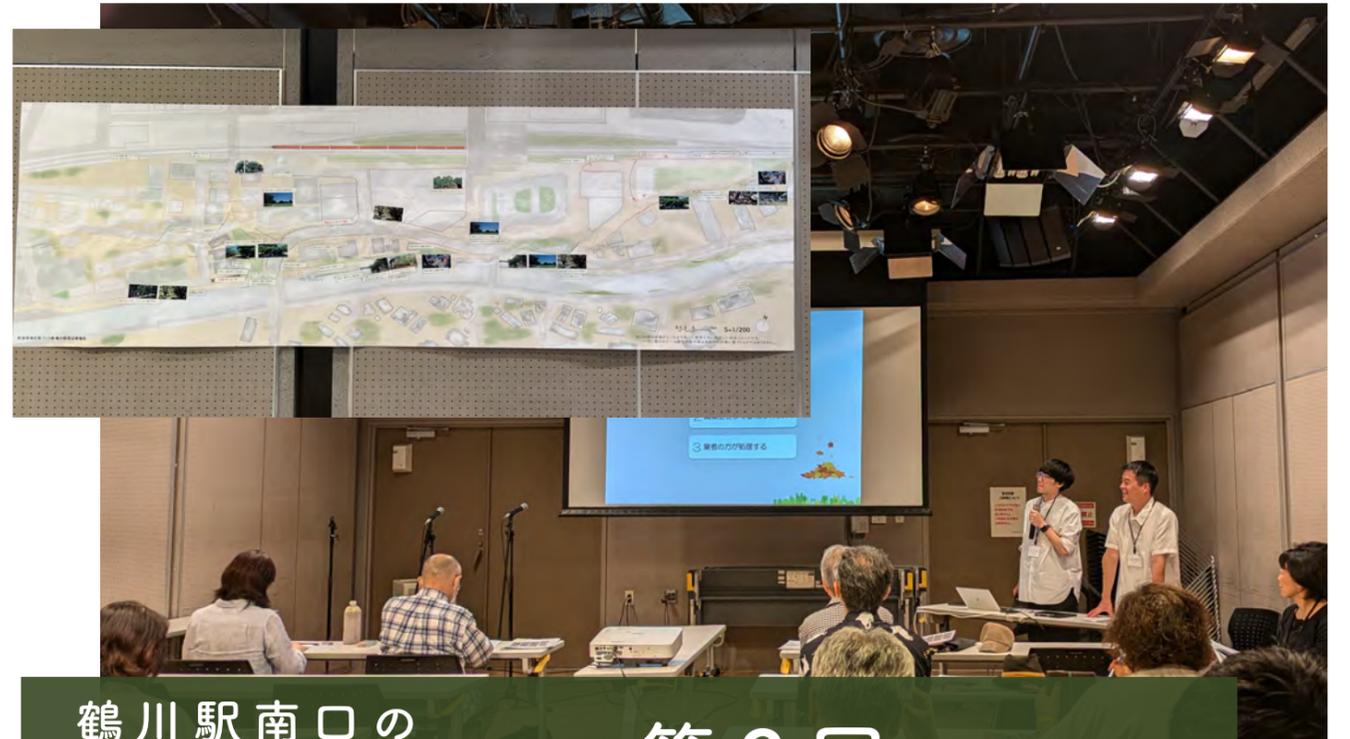
第3回 2024年9月19日(木) 18時30分～20時30分
テーマ：歩きたくなる道とは？
(講師：照明家・角館まさひで先生)

第4回 2024年10月26日(土) 10時00分～12時00分
テーマ：居心地の良いひろばとは？
(講師：ランドスケープアーキテクト・石井秀幸先生)

【ご参加お申込方法】

開催が確定いたしましたら、皆様へ事前にご案内をお送りいたします。

問い合わせ
町田市都市づくり部地区街づくり課
TEL 042-724-4214
〒194-8520
東京都町田市森野二丁目2番22号
E-mail：toshi070@city.machida.tokyo.jp



鶴川駅南口のまちなみをつくる会 第2回のテーマは「みどり豊かなまちとは？」

七月の暑さが厳しい土曜日の朝、第2回目の「鶴川駅南口のまちなみをつくる会」が和光大学ポプリホール鶴川にて開催されました。土曜日の午前中でしたが、合計8名の方にご参加をいただき、前回の第1回のおさらいからはじまり、「みどり豊かなまちとは？」というテーマのもと、みどりがまちに与える影響や、みどりを育む手法について、事例を交えながら学んでいきました。前回の開催に引き続き、今回もテーマに対する視点を講義で共有した後に、まちづくりを実践されているプロフェッショナルの視点を学び、その学びを活かした上で鶴川駅南口の自身の敷地や環境ではどのようなことが実践できるのか、具体的なアクションについて、皆様と考えました。また、自身の敷地とその周辺エリアについて考えた後に、各々で考えた内容をひとつの大きなマップに重ね合わせることで、鶴川駅南口エリアのみどり豊かなまちのイメージが見えてきました。

【第2回はこのように進められました】

- (1) テーマ共有講義
「みどり豊かなまちとは？」TNA 武井誠さん
- (2) 講義「住民主体による豊かなまちづくりの実践的な活動」
建築家/UID 代表取締役 近畿大学工学部教授 前田 圭介 先生
- (3) 個別ワーク「鶴川駅南口のみどりを考えよう」

【鶴川駅南口のまちなみをつくる会】
第2回開催概要

日時：2024年7月6日土曜 10:00-12:00
場所：和光大学ポプリホール鶴川3F 多目的室
テーマ：みどり豊かなまちとは？
ファシリテーター：TNA 武井誠さん、鍋島千恵さん
講師：建築家/UID 代表取締役 近畿大学工学部教授 前田 圭介 先生

テーマ共有講義

「みどり豊かなまちとは？」

TNA 武井誠さん（建築家）

みどり豊かであることが、まちの魅力を作り出しているということは、私たちの生活の中で感覚的には理解ができるかと思えます。

しかし、実際のところ「みどりの豊かさ」がどのように「まちの豊かさ」につながっているのか？何故みどりが豊かな方がいいのか？建築家の視点から武井さんに解説していただきました。

当日配布された「まちなみをつくるワークノート #02」では、町田市で植樹されている街路樹の特性やまちなみに与える効果・影響についても2つの指標から分類し学びました。

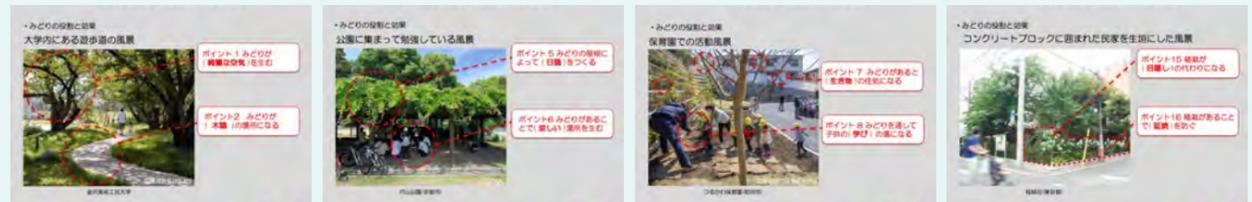


【みどりが豊かなまちはなぜ魅力的に感じるのでしょうか？】

みどりの豊かさがまちにどのような影響を与えるのか。みどりの役割と効果について、8つのまちの風景の実例を観察することで、16のポイントをあげて解説していただきました。まちが持っている魅力は、みどりによって、より幅広く豊かで愛着のあるものとなり、そこに住む人々に健やかな環境や居心地の良さ、防災の効果など多面的な影響や効果を与えていることがわかりました。

＜「みどりのあるまち」でのみどりの役割 13のポイント＞

- | | | | | | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-------------------|-------------------|--------------------|---------------------|
| 1 みどりがきれいな空気をうみ出す | 2 みどりが木陰の場所になる | 3 みどりによって明るさを感じる | 4 みどりとベンチが休憩する場所を生む | 5 みどりの屋根によって日陰を作る | 6 みどりがあつて涼しい場所を生む | 7 みどりがあつて生き物の住処になる | 8 みどりを通して子供の学びの場になる |
| 9 みどりがあつてまちなみをつくる | 10 みどりがあつて柵の役割をする | 11 みどりが子供達の遊び場になる | 12 緑化することで蒸発して温度を下げる | 13 みどりを育てる | 14 花の変化を見て四季を感じる | 15 植栽が目隠しの代わり | 16 植栽があつて延焼を防ぐ |



専門家によるまちなみの講義

「住民主体による豊かなまちづくりの実践的な活動」

建築家 /UID 代表取締役 近畿大学工学部教授 前田 圭介 先生

世代を超えて、未来に向けてのまちを作るために、まちとそこに住む人たちがどのような関係性を紡いでいけばいいのか。2011年から広島県福山市のとおり町商店街の「とおり町 Street Garden」で実践を続けている前田さんにそのプロセスをお聞きしました。

前田さんは「みどりの多い街は文化度が高い」とおっしゃいます。それはみどりを維持していくためにはそれを大切に育てることに価値を感じている住民の方々の想いと実践するコミュニティがなければ実現することができないことを知っているから。

とおり町商店街では古くなり求心力を失った商店街を魅力的なものに再生すべく、商店街組合と住民と設計者が一体となり、100回以上のプレゼンテーションや対話の場を繰り返すことで、お互いの立場や想いを少しずつ紐解いていき、現在では看板や目玉となる店舗にたよらず、「居心地がいい場所」「歩きたくなる通り」をみどりを使った再開発事業で実現しています。ここには、行政にサポートを受けながら、住民が「まちのみどり」を「自分たちのみどり」と感じるための仕組みやヒントが多数ありました。



みどりが多く、歩車分離がなされていて、歩きたくなる魅力を生み出しているとおり町商店街 (UIDwebsite より)

【前田さんのレクチャーのまとめ】

- ・みどりの豊かさが、まちの **文化度** を表す
- ・豊かなまちをつくるには、**次世代へのバトン**をつなぐ意識が大切
そのために、**みどりをみんなで育てる**

【とおり町 Street Garden におけるポイント】

- みどりを取り入れることで、外から人を呼び込む効果だけでなく、みどりを通して地域の方々の縁が深まりコミュニティが強化されていく。
- みどりやその環境を維持していくためには、住民だけでなく行政や設計者も一緒になって、長い目で合意形成を深めていく必要がある。
- 水やりなどを住民の手で行うことで、四季の変化に向き合い、みどりを自分のものとして愛着を持って関わり育てていくことができる。

個別ワーク

「鶴川駅南口のみどりを考えよう」

専

門家によるテーマ共有やヒントの後、それらを踏まえて、「鶴川駅南口のみどり」について、未来の姿を具体的にイメージできる風景やシーンのシール等を用いて、マップに落とし込んでいきます。このワークでは、ご自身の敷地での「みどり」のあり方から、更に視野を広げて、周辺環境や鶴川駅南口もイメージしてみました。これらのイメージを大きな1枚のマップに重ね合わせてみると、住民の方々の間で共通したイメージも見えてきました。

【未来の姿をイメージしてマッピングします】



ご自身の敷地周辺の車道や歩道、公園や川辺など、まちの中にある様々な場所に対して、どのような風景やシーンがあると魅力的で素敵なまちになるのか、広いエリアでのイメージを書き出していきます。

最後に、参加者の皆さんのワークシートをひとつの大きなマップにまとめていきます。それぞれご自身の敷地から考え始めた内容が、思いの外、みなさんの意識が、いくつか同じ方向に向かい、共通の「魅力」を求めていることがわかりました。このマップはこのワークショップシリーズの最後に資料にまとめて皆さんにご覧いただく予定です。

